



令和4年度大阪府公立高等学校入学者選抜における学力検査問題等について

学力検査及び実技検査等の問題は、大阪府教育委員会（以下「府教育委員会」という。）が作成する。
学力検査の問題は、中学校卒業までに習得される基礎的な学力を評価することを主眼として、国語、社会、数学、理科、英語について作成する。

- 1 国語、数学、英語の学力検査問題について、特別入学者選抜（以下「特別選抜」という。）においては2種類、一般入学者選抜（以下「一般選抜」という。）においては3種類をそれぞれ作成する。各高等学校は、使用する問題を課程別に選択して高等学校を設置する教育委員会に申請し、同教育委員会はこの申請を踏まえて決定し、事前に公表する。
問題の種類、特徴、検査時間及び配点については、次のとおりとする。

種類	特 徴	特別選抜		一般選抜	
		検査時間	配 点	検査時間	配 点
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题する。	40分	45点	50分	90点
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出题する。	40分	45点	50分	90点
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。			50分	90点

種類	特 徴	特別選抜		一般選抜	
		検査時間	配 点	検査時間	配 点
A (基礎的問題)	基礎的な計算問題を出题するとともに、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用（データの活用）」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	40分	45点	50分	90点
B (標準的問題)	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用（データの活用）」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	40分	45点	50分	90点
C (発展的問題)	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用（データの活用）」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出题する。			60分	90点

種類	特 徴	特別選抜		一般選抜	
		検査時間	配 点	検査時間	配 点
A (基礎的問題)	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。	55 分 〔筆答 40分 リスニング 15分〕	45点	55 分 〔筆答 40分 リスニング 15分〕	90点
B (標準的問題)	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法についての理解を問ううえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。	55 分 〔筆答 40分 リスニング 15分〕	45点	55 分 〔筆答 40分 リスニング 15分〕	90点
C (発展的問題)	〔筆答〕 標準的・発展的な内容の英文の中から、話題や論理の流れに沿って必要な情報を素早く読み取る力を問う問題とともに、一定量以上のまとまりのある内容を英文で適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。 ※問題文は、指示文を含め、すべて英語で構成する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題とともに、「読む・聞く・書く」技能を統合的に活用する力を問う問題を出題する。			55 分 〔筆答 30分 リスニング 25分〕	90点

*英語の学力検査は、令和3年4月26日に通知した「大阪版 中学校で学ぶ英単語集（令和3年4月改訂）」から出題します。
*A、B問題のリスニングテストでは、同一問題を使用し、配点は約20％（5分の1）とします。
*C問題のリスニングテストでは、A、B問題と異なる問題を使用し、配点は約33％（3分の1）とします。

- 2 社会、理科については、特別選抜及び一般選抜において、1種類ずつを府教育委員会が作成する。
検査時間、配点については次のとおりとする。

教 科	特別選抜		一般選抜	
	検査時間	配 点	検査時間	配 点
社 会	40分	45点	40分	90点
理 科	40分	45点	40分	90点

3 実技検査の検査内容、検査種目、配点については、以下のとおりとする。

学 科	検査内容	検査種目	配 点
工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、デザインシステム科、ビジュアルデザイン科、映像デザイン科及びプロダクトデザイン科）、総合造形科及び美術科	美術に関する基礎的な描写力及び総合的な表現力	基礎的描写	75点
		総合的表現	75点
音楽科	音楽に関する基礎的な視唱力・聴取力及び希望する専攻実技における表現力	視唱	30点
		専攻実技	100点
		聴音	20点
体育に関する学科	運動に関する基礎的な能力及び希望する検査種目における技能	運動能力	45点
		運動技能	180点
グローバル探究科	英語に関する技能のうち、「読む」「聴く」「話す」の総合的な運用能力	英文の音読	20点
		英語による口頭試問	80点
演劇科	演技に関する基礎的な表現力	身体表現	75点
		歌唱表現	75点
芸能文化科	芸能文化に関する基礎的な表現力及び探究力	朗読	50点
		口頭試問	50点

中間テストに全力投球！！

◆この土日は、わかっているよね！！極端ですが、内申の5分の1が決まるテストです。（テストだけで成績はつけませんが・・・）
1日6時間以上は、机に向かうこと！土日で12時間以上ね！！

◆そして、5教科に追われて、技家がおろそかにならないこと。変な話し英語の「5」も技家の「5」も評定の重さは変わらないからね。

◆それと、上の欄の実技検査（特別入学者選抜）を課せられる高校（学科）に興味関心がある生徒は、担任まで言っといてくださいね。

◆さらに、スポーツ推薦や他府県受検などの可能性がある生徒も、早め早めに担任まで連絡をしておいてください。

◆6月18日の校内学力診断テストに向けても中間が終われば、すぐに再スタート＝取り組み始めること。成績には、加味しませんが、自分の進路希望を方向づけるテストになりますので。

令和4年度大阪府公立高等学校入学者選抜における総合点算出にあたっての「学力検査の成績」及び「調査書の評定」にかかる倍率のタイプについて

◆特別入学者選抜
学力検査の成績（満点：45点×5教科＝225点）
調査書中の各教科の評定（満点：3学年の5段階評定×3倍×9教科＋2学年の5段階評定×1倍×9教科＋1学年の5段階評定×1倍×9教科＝225点）
総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかかる倍率は、次のⅠからⅤの5つのタイプである。

倍率のタイプ	学力検査の成績 にかかる倍率	調査書の評定 にかかる倍率	学力検査の満点	調査書の満点	総合点*	【参考】学力検査の成績 と調査書の評定の比率
Ⅰ	1.4倍	0.6倍	315点	135点	450点	7：3
Ⅱ	1.2倍	0.8倍	270点	180点		6：4
Ⅲ	1.0倍	1.0倍	225点	225点		5：5
Ⅳ	0.8倍	1.2倍	180点	270点		4：6
Ⅴ	0.6倍	1.4倍	135点	315点		3：7

*実技検査を実施する学科の総合点には、実技検査の成績が加わります。

◇一般入学者選抜（全日制の課程）
学力検査の成績（満点：90点×5教科＝450点）
調査書中の各教科の評定（満点：3学年の5段階評定×6倍×9教科＋2学年の5段階評定×2倍×9教科＋1学年の5段階評定×2倍×9教科＝450点）
総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかかる倍率は、次のⅠからⅤの5つのタイプである。

倍率のタイプ	学力検査の成績 にかかる倍率	調査書の評定 にかかる倍率	学力検査の満点	調査書の満点	総合点	【参考】学力検査の成績 と調査書の評定の比率
Ⅰ	1.4倍	0.6倍	630点	270点	900点	7：3
Ⅱ	1.2倍	0.8倍	540点	360点		6：4
Ⅲ	1.0倍	1.0倍	450点	450点		5：5
Ⅳ	0.8倍	1.2倍	360点	540点		4：6
Ⅴ	0.6倍	1.4倍	270点	630点		3：7

◇一般入学者選抜（定時制の課程）
学力検査の成績（満点：90点×3教科＝270点）
調査書中の各教科の評定（満点：3学年の5段階評定×3.6倍×9教科＋2学年の5段階評定×1.2倍×9教科＋1学年の5段階評定×1.2倍×9教科＝270点）
総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかかる倍率は、次のⅠからⅤの5つのタイプである。

倍率のタイプ	学力検査の成績 にかかる倍率	調査書の評定 にかかる倍率	学力検査の満点	調査書の満点	総合点	【参考】学力検査の成績 と調査書の評定の比率
Ⅰ	1.4倍	0.6倍	378点	162点	540点	7：3
Ⅱ	1.2倍	0.8倍	324点	216点		6：4
Ⅲ	1.0倍	1.0倍	270点	270点		5：5
Ⅳ	0.8倍	1.2倍	216点	324点		4：6
Ⅴ	0.6倍	1.4倍	162点	378点		3：7